

2013年度 事業報告書

(2013年4月1日～2014年3月31日)

公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

2013 年度 事業報告書

(2013年4月1日から2014年3月31日まで)

・事業の概況

本年度も当財団の目的を達成するために、美術・音楽、舞台などの芸術分野での有効適切な助成活動を行うとともに、芸術家等の国際交流の促進に貢献し、あわせて芸術資産を活かしながら芸術創造の支援をするため、アサヒビール大山崎山荘美術館の運営等の文化事業を行った。

当財団の事業活動は、次の点に重点を置いている。

- ・若手の発掘支援、活動の発掘支援による新たな芸術文化の創造に寄与すること
- ・芸術文化による地域創造を視野に入れ、地域における文化振興に寄与すること

また、東日本大震災の被災地に対する継続的支援として、アサヒビール社が実施している「アサヒ・アート・フェスティバル」へ協賛し、参加プロジェクトを通じて、引き続き全面的な協力を行った。

1. 助成部門

1) 芸術活動助成

「事業の総括」

公益財団法人への移行2年目は、一新した選考委員により選考された最初の助成事業の展開であり、新しい選考委員の斬新な評価により、レベル、内容ともに新味を加えることになった。また、本年度から助成件数を削減することにより、金額的に手厚い助成とするとともに、選考委員の方々による視察を実施し、助成のフォローを充実させることに注力した。

「事業の概要」

当財団の事業活動の主要分野である美術・音楽・舞台芸術分野への活動助成は、合計21件、14,500千円であり、計画通り実行した。

あわせて、国際交流事業助成は、8件、6,000千円であり、計画通り実施した。

また、文化機関、文化施設等への芸術文化団体助成は、あわせて9件5,500千円で、いずれも計画どおり実施した。

これらの助成活動は次のとおりで、当期の助成件数は総計43件、助成金は28,500千円である。

平成25年度助成内訳

件名		助 成	
		件 数	金額(千円)
芸術活動助成	美 術	7	5,000
	音 楽	7	5,000
	舞台芸術	7	4,500
小 計		21	14,500
国際交流事業助成		8	6,000

芸術文化団体助成	9	5,500
その他の助成	5	2,500
小計	22	14,000
合計	43	28,500

2) 芸術文化活動の実施

「事業の総括」

芸術文化の総合的な振興のため、アサヒビールの公益性の高いメセナ活動と連動して、芸術活動の自主企画を財団として実施している。

本年度も「アサヒアートフェスティバル(AAF)」事業へ協賛し、北は北海道から南は沖縄まで、過去最大の規模となる54のプログラムを全国各地で展開した。

主催事業となっている「すみだ川アートプロジェクト」も、5年目を迎え、益々たくさんの参加者となり、隅田川流域で、賑やかに実施された。

両事業とも、地域における芸術文化振興と地域創造に寄与し、全国の自治体からも注目を集めている。

「事業の概要」

本年度で12回目を迎えた『アサヒ・アート・フェスティバル(AAF)』(6月15～10月14日)に、アサヒビール社と連携して参画し、助成を実施した。本フェスティバルは、全国のアートNPOと協働して実施しているもので、過去最多となる54のプログラムを全国各地で開催、実施した。

そのうち、宮城県女川町や福島県いわき市など東日本大震災の傷跡が未だ癒えない地域でも、4つのプログラムが開催され、地域住民の皆さんに元気と勇気を与えるべく、全国の人々との交流の機会を創出した。今後も芸術文化活動で継続的な支援を行っていく予定である。

平成21年度から開始した「すみだ川アートプロジェクト」は、より一層地域に密着した芸術文化活動を促進することを目的としてスタートしたもので、隅田川の多様な可能性をアート活動で探ることを目的に、80年後をゴールとしたプロジェクトである。

5年目となる本年度は、奇想天外なストーリーを数多く生み出した江戸を代表する歌舞伎狂言作者、鶴屋南北を切り口に、6月15日から7月31日まで「江戸を遊ぶ - 「ないませや！」鶴屋南北 - 」と題して地域住民や観光客をも巻き込んだ様々な企画を実施した。

本プロジェクトは、墨田区にも共催者として参加していただいているほか、公益社団法人企業メセナ協議会には企画面での協力を仰いでいる。

2. 美術館運営部門

「事業の趣旨」

当財団は、平成8年(1996年)から、アサヒビール社より「アサヒビール大山崎山荘美術館」の運営を委託されており、これに伴い、美術館運営事業を行ってきた。

所蔵品・建物・自然環境という大山崎山荘美術館ならではの資源を活かし、関西はもとより、広く芸術文化の拠点として、情報発信に努めている。

「事業の総括」

大山崎山荘美術館は、平成25年度で開館18年目を迎えた。

事業に関しては、新聞、雑誌、テレビ等、マスコミに多数取り上げられ、常にきわめて高い評価を受けている。美術館のブログを通じて、四季折々の自然や行事の情報をタイムリーに発信し、ホームページの充実に努めている。

地元小学校を対象にした出前授業、美術館での招待授業など、地域との連携による芸術教育普及活動を継続して実施している。

来館者数については、休日の天候不順や災害の多発により、62,160名、前年比76%と大幅ダウンとなった。来期については、新規の入場者の開拓とともに、より魅力のある企画展の実施、来館者へのホスピタリティの一層の充実をテーマに、館員一丸となって取り組んでいくことにしている。

「事業の概要」

【企画展】

「フラワー・オブ・ライフ展」を6月2日まで開催、天王山が新緑に燃える季節に、花をモチーフとした所蔵の名品を紹介した。その後、「バーナード・リーチのうつわに跳ねる動物たち展」を9月1日まで開催、鳥、兎、蛙から空想上のグリフィンまで、ユニークでユーモラスな動物たちが登場するリーチの作品をメインに展示、夏休みの子どもたちにも楽しんでいただいた。さらに、「光と灯り - 前期 - 展」、「光と灯り - 後期 - 展」を26年4月13日まで開催、光の画家と言われるクロード・モネの油彩画から、様々な釉薬によって独特の光沢を放つ古陶磁や民藝作家の陶磁器など名品80点をご覧いただいた。本年度は計4回の企画展を実施した。

企画展を通して、山本コレクションにもう一度様々な角度から光をあて、今まであまり展示してこなかった作品の数々を紹介することが出来たことは、大きな意味合いがあったものと考えている。

【広報、地域連携等】

地域社会との連携の観点から、近隣の小学校を対象に、出前授業や美術館に招いてのワークショップなどを今年も継続実施した。

美術館のホームページでは、お客様への発信をより一層タイムリーなものとするべく、ブログに力をいれ、庭園の桜や池の睡蓮の開花情報、天王山の四季折々の植物の情報、イベント情報など、こまめな発信に努めている。

主たる事業の日程

年	月	日	項目	適用
25	4	1	大山崎山荘美術館 企画展	「フラワー・オブ・ライフ展」(～6/2)
	6	5	定時理事会・評議員懇談会	平成 25 年度事業報告・決算書類承認の件 理事の職務権限規程承認の件
	6	5	助成授与式	
	6	8	大山崎山荘美術館 企画展	「バーナード・リーチのうつわに跳ねる動物たち展」(～9/1)
	6	15	アサヒ・アートフェスティバル	全国 54 箇所で開催プロジェクトを中心に展開 (～10/14)
	6	15	すみだ川アート・プロジェクト	『江戸を遊ぶ』(ないまぜや鶴屋南北)(～7/31)
	6	20	財団案内作成	平成 25 年度版
	6	20	定時評議員会	平成 24 年度事業報告・決算書類承認の件 評議員選任の件 委員の報酬並びに費用に関する規程の承認の件
	6	29	内閣府へ事業報告等の提出	
	8	14	官報「決算公告」	
	9	21	大山崎山荘美術館 企画展	「光と灯り展 - 前期 - 」(～1/13)
	12	13	第 2 回 理事会	選考委員会選考委員 2 名選任の件
	12	16	内閣府へ役員変更届	11/25 堤理事ご逝去
26	1	17	大山崎山荘美術館 企画展	「光と灯り展 - 後期 - 」(～4/13)
	1	28	選考委員会	音楽部門案件の選考
	1	30	選考委員会	舞台芸術部門案件の選考
	2	5	選考委員会	美術部門案件の選考
	3	5	第 3 回 理事会	平成 26 年度事業計画・収支予算の承認 平成 26 年度助成・選考委員会答申書承認 理事会運営規程、評議員会運営規程、個人情報保護 規程、情報公開規程、財産管理運用規程 承認 業務執行状況 報告
	3	25	内閣府公益法人行政担当室	2014 年度事業計画書 届出

処務の概要

1. 役員等に関する事項

役員、評議員及び選考委員の異動

平成24年度中の財団人事は、次の通り。

・平成 25 年 6 月 20 日	評議員	退任	内藤 規夫
平成 25 年 6 月 20 日	評議員	選任	渋谷 博久
平成 25 年 6 月 20 日	評議員	退任	丸山 高見
平成 25 年 6 月 20 日	評議員	選任	塩澤 賢一
・平成 25 年 11 月 25 日	理事	逝去	堤 清二
・平成 25 年 12 月 13 日	選考委員	選任	渋谷 博久
	選考委員	選任	唐津 絵理

平成25年度末の現職役員、評議員及び選考委員は次の通り

役職名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	主な職業	備考
代表理事	荻田 伍	2012-04-01	本法人代表	-	アサヒグループホールディングス 相談役	2006-04-01
業務執行 理事	竹田 義信	2012-06-04	業務全般	-	< 財団常勤 >	2012-06-04
理事	尾崎 正明	2012-04-01		-	元京都国立近代美術館館長	2012-04-01
同	竹内 順一	2012-04-01		-	永青文庫館長	2012-04-01
同	岡部 真一郎	2012-04-01		-	明治学院大学教授	2012-04-01
同	吉井 澄雄	2012-04-01		-	日本照明家協会名誉会長	1989-06-30
監事	森田 松太郎	2012-04-01		-	森田公認会計士事務所	1989-03-31
同	掛貝 幸男	2012-04-01		-	アサヒグループホールディングス 常勤監査役	2011-04-01
評議員	末松 謙一	2012-04-01		-	三井住友銀行 名誉顧問	1995-04-10
同	櫻井 修	2012-04-01		-	住友信託銀行 特別顧問	1989-06-30
同	大崎 仁	2012-04-01		-	人間文化研究機構	1989-04-01
同	三角 哲生	2012-04-01		-	二階堂学園 理事長	1989-03-31
同	根津 公一	2012-04-01		-	東武百貨店 会長	2002-06-20
同	高嶋 達佳	2012-04-01		-	電通 会長	2012-04-01
同	前田 新造	2012-04-01		-	資生堂 相談役	2012-04-01
同	大林 剛郎	2012-04-01		-	大林組 会長	2012-04-01
同	塩澤 賢一	2013-06-20		-	アサヒビール常務取締役	2012-06-04

同	渋谷 博久	2012-06-20		-	アサヒビル大山崎山荘美術館館長	2011-04-01
選考委員長	渋谷 博久	2013-01-04		-	”	2011-04-01
選考委員	伊東 正伸	2013-01-04		-	国際交流基金文化事業部 企画役	2013-01-04
同	大西 若人	2013-01-04			朝日新聞編集委員	2013-01-04
同	薩摩 雅登	2013-01-04			東京芸術大学教授	2013-01-04
同	建畠 哲	2013-01-04			京都市立芸術大学学長	2013-01-04
同	奥田 佳道	2013-01-04			音楽評論家	2013-01-04
同	沼野 雄司	2013-01-04			桐朋学園大学准教授	2013-01-04
同	望月 京	2013-01-04			明治学院大学准教授	2013-01-04
同	大加 章雅	2013-01-04			NHK制作局主幹	2013-01-04
同	岸田 真	2013-01-04			桜美林大学准教授	2013-01-04
同	唐津 絵理	2013-12-13			愛知県芸術文化センター 学芸員	2013-12-13

2. 職員に関する事項

該当事項なし

3. 役員会等に関する事項

(1)理事会

開会年月日	議事々項	会議の結果
2013-06-05	第1回 理事会 2012(平成 24)年度 事業報告及び決算書類の承認 定時評議員会の件 理事の職務権限規程の承認 業務状況報告	原案通り承認された。
2013-12-05	第2回 理事会 選考委員 2名選任の件	原案通り承認された。
2014-03-05	第3回 理事会 2014(平成 26)年度事業計画書及び収支予算書等承認 2014(平成 26)年度助成・選考委員会答申書承認 理事会運営規程、評議員会運営規程、個人情報保護規程、情報 公開規程、財産管理運用規程の承認 業務状況報告	原案通り承認された。 原案通り承認された。 原案通り承認された。

(2)評議員会

開会年月日	議事々項	会議の結果
2013-06-20	第1回 評議員会 2012(平成24)年度 決算書類の承認 評議員の選任 委員の報酬等並びに費用に関する規程の承認	原案通り承認された。 原案通り承認された。 原案通り承認された。

4. 許可、認可及び承認に関する事項

該当事項なし

5. 契約に関する事項

{WEBサイトのドメイン名使用に関してアサヒグループホールディングス社との使用契約}

2014年3月28日付け ドメイン名の使用に関する契約書締結

6. 寄付に関する事項

寄付の目的	寄付者	申込み金額	領収金額	受入年月日
助成活動運営資金	アサヒグループホールディングス株式会社	70,000,000 円	30,000,000 円	2013-05-31
			30,000,000 円	2013-07-31
			10,000,000 円	2013-09-30
	年度合計	70,000,000 円	70,000,000 円	
美術館運営資金	アサヒグループホールディングス株式会社	70,000,000 円	30,000,000 円	2013-05-31
			20,000,000 円	2013-07-31
			20,000,000 円	2013-09-30
	年度合計	70,000,000 円	70,000,000 円	
芸術文化財団合計		140,000,000 円	140,000,000 円	

7. 主務官庁指示に関する事項

該当事項なし

8. その他 重要事項

該当事項なし

附 属 明 細 書

平成24年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成26年6月

公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団

以上